

### 森とふれあい 冒険心に溢れた こどもの城

認定こども園  
大野めぐみ保育園「きのこ棟」



### 無限大の可能性を育む園舎

認定こども園・大野めぐみ保育園  
園長 中西三千子

「きのこ棟って三階建て？」今年卒園した学童さんが出来上がったきのこ棟を外から見ると、私に発した言葉。「そうかもね。じゃあ中入って見てもらん。」きのこ棟の見学を終えると「園長先生、三階と二階が一階とつながってた。」と驚きの声。子どもってなんて素敵なのだろうと感じさせられた喜びの瞬間でした。

そんな素敵な子どもたちの声を発せられる園舎を設計してくれた吉田先生と出会ったのは、保育園に送られてきた吉田建築計画事務所からの一冊のパンフレットからでした。「こんな木のぬくもりのある園舎いいな」と拝見していた頃、認定こども園・定員増に向け施設整備の計画が持ち上がり、吉田先生にお願いすることになりました。当園は昭和三十三年「ありがとうございませう。ごめんなさいを素直に言えるこども」を保育信条として、慈眼寺の境内地に開設。平成七年には、松・クヌギ・山つつじの森を切り開いて移転改築。増築園舎は森を残しながら、子どもたちがのびのび生活できる園舎を作りたいと思いました。

吉田先生が提案してくださった

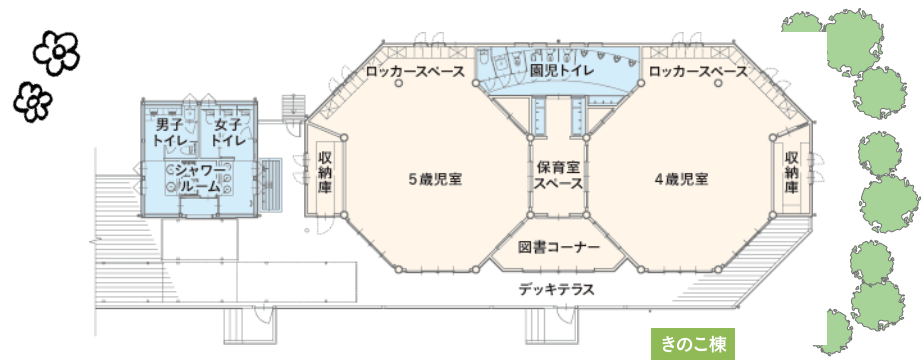
のは、八角形の部屋が二つつながっている形、しかも吹き抜けで新鮮でした。完成予想図は、理事長が「このペンションの写真？」と見間違えるほどモダンでした。来園してくださる方の為に、大人専用トイレ棟も作りしました。大屋根が二つ・子屋根が一つ並び、お父さんお母さん子どものきのこが立っているような外観であった為「きのこ棟」という名称にしました。

建設中は様々な工事車両に子どもたちは興味津々で、上棟式も盛大に子どもたちや地域の方と楽しみました。数字の八は横にすると無限大、これまでの慈眼福祉会の思いを吉田先生は見事に園舎に表現してくださいました。園舎に入った年長さんは「すごく広いんだよ・音が響くんだよ・屋根が高いよ」とお家の方に自慢しています。

きのこの胞子がなければ森は育たないと聞きました。「子どもたちが地域を育んでいく」そんなことに思いをはせながらきのこ棟を大切に使い続けていきたいと思っています。



1 / 壁面が緩やかにカーブしているのでトイレも楽しい空間となりました。2 / 手洗いカウンターも木製で作りました。3 / 天気の良い日はデッキテラスも保育室に。4 / 木製ロッカーは子供たちの、荷物がびったり納まるサイズで作りしました。5 / 小さな空間は落ち着いたスペースに



### 認定こども園 大野めぐみ保育園

工事名称 / 大野めぐみ保育園増築工事(別棟)  
事業主 / 社会福祉法人 慈眼福祉会  
所在地 / 茨城県鹿嶋市大字浜津賀457-6他  
用途地域 / 市街化調整区域  
建築面積 / 404.50㎡(増築部分)全体1453.02㎡  
延床面積 / 267.52㎡(増築部分)全体1269.40㎡  
耐火建築物 / 準耐火建築物 イ-2  
構造・用途 / 鉄骨造平屋建て・保育所  
竣工 / 平成27年4月1日



認定こども園・大野めぐみ保育園「きのこ棟」

# 森とふれあい 冒険心に溢れた こどもの城

今や地方においても、子供たちが自然と触れ合う機会は年々少なくなっています。ここでは幼児期の子供たちが、より自然を身近に感じ、自然とふれあうことを大きなテーマとして設計しました。



上/八角形の室内空間は子ども達が自由に走り回れます。下/夕闇せまる森の中で、あたたかな明かりが灯る「きのこ棟」



くぬぎの森に囲まれた園舎。二つの八角形の大屋根とデッキテラスは森との一体性を高めている



吉田建築計画事務所  
所長 吉田良一  
一級建築士

建物の外観は名前の通り、森の中にある大きなきのこをモチーフにデザインしました。建物のつべんにある窓からは、太陽の光が保育室の中へさんさんと降りそそぎます。建物の内外には地域産の天然木材（桧、杉等）をふんだんに使いました。木の床は温かく柔らかいので、飛びはねたり寝ころんでも安心です。木の壁は走ってぶつかってもコンクリートの様に硬くないので大丈夫です。木はこども達の心と身体の成長にとっても優れた材料なのです。このような自然に溢れた豊かな環境で、子供たちが生き生きと元気に育ってくれることを願っています。

**健康な建築で健康な子どもを育てる**

んのこと、雨の日でも外へ出ることが出来ます。こども達はまるで森の中で生活しているように、より自然を五感で感じる事ができ、遊びながらにして感性や冒険心を高め、情操豊かに成長することでしょう。また、この大きなデッキテラスは、きのこ棟と既存園舎とをつなぐ外部廊下の機能もあり、大きな船のデッキのような役割を果たしています。

**無限大の可能性**

「きのこ棟」は森の中に佇む、こどもの城（いえ）をイメージしました。間取りは八角形の保育室が横に二つ並んでいて、無限大の記号(∞)をモチーフにしています。この保育園は母体である真言宗のお寺の境内からスタートし、現在も保育の一環として仏教の教え取り入れています。八の字は仏教とかわりの深い数字であること、また∞はこども達の無限の可能性を表現しています。

屋根のかかった正面の大きなウッドデッキは、森（自然）との一体感を高め、晴れた日はもちろん

